

TOPICS

エクステリアをより精悍なスタイルに変える 「ブラックライン アクセサリー パック」のご紹介

CONTENTS

1 TOPICS —
「ブラックライン アクセサリー
パック」のご紹介

2 COMPETITORS —
ポルシェ パナメーラ



3 NEW PRODUCT —
フライフィッシング
by Mulliner

4 FUN FACT —
徹底した品質管理を行う
ベントレー

5 LATEST NEWS —
新コンフィギュレーターの
機能 他



6 TRAINING —
ベントイガの機能に関する
Q & A



英国ベントレー モーターズが今年3月に発表した、コンチネンタルGTをより精悍なスタイルに変える
「ブラックライン アクセサリー パック」に、このほど16MYのコンチネンタルシリーズ対応製品が登場しました。

発売時期、価格等は後日ベントレーより
ご案内いたします

より力強くブラックを強調したスタイル

新しく発表されたのは「ブラックライン アクセサリー パック」。これまでどおり12MYから15MYのコンチネンタルシリーズのクーペおよびコンバーチブルのすべてのモデルに対応するのはもちろん、16MYのW12、Speed、V8、V8 Sにも対応しています。
ブラックライン アクセサリー パックは、コンチネンタルシリーズをより個性的な外観に変えるためのパッケージです。ラジエターグリル、フロントとリアのフェンダー、ドア、リアバンパーのトリム、ドアハンドルインサートで使われているクロームのトリムが「ジェットブラック」に変更されます。また、ヘッドライトの周囲をブラックで囲むブラック ヘッドライト サラウンドや、「フライングB」のウィングベントもブラックパーツに交換（16MYのみ）されます。
ブラックライン アクセサリー パックの完成度をさらに上げるための追加パーツも用意。ブラック サイドウィンドウ モール、ダークティントヘッドライト、ダークティントリアコンビランプ（2種類の仕上げから選択可）も設定しました。

パフォーマンスなどのアップグレードも

アップグレードパックは、今年3月に発表されたもので、主に外観をより精悍なスタイルに変えることができるパッケージですが、ほかにもパフォーマンスやドライブフィールなどでのアップグレードも可能です。
例えば、ブレーキをカーボンセラミックブレーキに変更し、ブレーキキャリパーをブルーやレッドに変更してブレーキ性能と外観のスポーティさをアップさせることもできます。また、アクセルペダルとブレーキペダルをドリルドアルミペダルに変更し、足裏の感覚と内装のスポーティさを向上させることも可能となっています。
過去のモデルを大切にお願いしているお客様や、ベントレー認定中古車をお求めのお客様に、アップグレードパックを利用することで現行モデルのような新鮮なベントレーが手に入ることを説明し、興味を示したお客様にしっかりお勧めしてください。

アップグレードパック
専用ウェブサイト <https://upgrades.bentleymotors.com/en>



伝統のマトリックス ラジエターグリルがブラックになり迫力が増す



触れる頻度の高いドアハンドルインサートもブラック化



サイドを引き締めるローワー ボディ トリム



ヘッドライト周囲をブラックで囲むブラック ヘッドライト サラウンド



ブラックライン アクセサリー パックの完成度を上げるダークティントリアコンビランプ

COMPETITORS INFORMATION [競合車情報]

よりスポーティに生まれ変わったラグジュアリーサルーン — ポルシェ パナメーラの特長 —

ポルシェ ジャパンは、第二世代に生まれ変わった新型パナメーラの予約受注を7月28日から開始しました。同社初のフル4シーター・4ドアモデルとして2009年にデビューしたポルシェ パナメーラは、7年あまりで世代交代。スポーツカーのパフォーマンスとラグジュアリーサルーンの快適性を両立させながら、よりスポーティな方向に進化しています。

エクステリア



4ドアクーペらしいスタイリングとなったパナメーラ 4Sのリアまわり

ボディサイズは、全長5,049mm、全幅1,937mm、全高1,423mmで、従来に比べて全長で34mm、全幅で6mm、全高で5mmサイズアップされています。全高が高くなったにもかかわらず全体的に低く見えるのは、リアシート上部の天井高を20mm削減したため。また、34mm長くなった全長のうち30mmはホイールベースの延長によるもの。フロントオーバーハングは短縮され、逆にリアオーバーハングが伸ばされたことにより、のびやかでダイナミックなプロポーションに一新されました。



電動式ラゲッジコンパートメントリッドに組み込まれたボディ同色のリアスポイラー。なかでもパナメーラ ターボのリアスポイラーは左右に拡張しながら展開。高速走行時の姿をダイナミックに演出している

パフォーマンス

出力と効率性を高次元で両立させるため、新型パナメーラではすべてのエンジンが新開発となり、デュアルクラッチ式トランスミッションのPDKも8速化されました。パナメーラ 4Sに搭載される2.9リッター V6ツインターボエンジンは、最高出力では従来から20ps増しとなる440ps、最大トルクは30Nm増しとなる550Nmを発揮。0-100km/h加速は4.4秒（スポーツクロノパッケージ装着時4.2秒）、最高速度は289km/hを実現しています。一方のパナメーラ ターボには、4.0リッター V8ツインターボエンジンを搭載。排気量は従来の4.8リッターから4.0リッターとなり、「ライトサイジング」化が図られています。最高出力は30ps増しの550ps、最大トルクでは70Nm増しの770Nmを発揮。0-100km/h加速は3.8秒（スポーツクロノパッケージ装着時3.6秒）、最高速度は306km/hに達します。また、8気筒エンジンには走行時の負荷に応じて4気筒を休止させる「アダプティブ シリンダー コントロール」をポルシェとして初搭載。燃料効率についても改善しています。



FEATURE 1

より911に近くなった
デザイン言語

FEATURE 2

高性能と高効率を実現した
新開発エンジン

FEATURE 3

次世代のコミュニケーション
システムを導入



パナメーラ ターボに搭載される新開発の4.0リッター V8ツインターボエンジン

新設計のV6およびV8ツインターボエンジンは、2基のターボチャージャーをV字のシリンダーバンク中央部に統合。ターボチャージャーとシリンダー燃焼室の距離を短くしたことでスロットルレスポンスの改善に寄与しています。また、エンジン自体がコンパクトになって搭載位置も下がり、結果として車両重心が下がるというメリットをもたらしています。

シャシー

足回りではラグジュアリーサルーンの快適性とスポーツカーの走行性能を両立させるべく、同社の918スパイダーと911に続いてリアアクスルステアを採用しています。また、車両の走行挙動をリアルタイムに検出してシャシーを制御する「4Dシャシーコントロール システム」を装備。さらに電子制御ダンパーシステム（PASM）を含む3チャンバー式のアダプティブ エアサスペンションをオプション設定しています。

インテリア

インテリアは一新され、各部が大幅にデジタル化されました。従来はPDKのセレクターまわりに多数のスイッチが整然と配置されていましたが、新型ではそれらが大幅に整理され、かつフラットなタッチセンサー式のコントロールパネルに置き換えられました。メーターパネルは一見すると伝統的な5連メーターのように見えますが、実際は中央のレブカウンターのみアナログメーターで、その左右には7インチディスプレイが配置されています。また、ダッシュボード中央のディスプレイは12.3インチのタッチスクリーンとなり、従来モデルから大幅にサイズアップしています。



タッチパネルと高解像度ディスプレイの採用により、一新されたインテリア



PDKのセレクターまわりにスイッチを配置していた従来型のインテリア。新型では中央のディスプレイサイズが大幅に拡大されたことが分かる

コミュニケーションシステム

次世代のポルシェ コミュニケーションマネジメントシステム（PCM）には、多彩な機能とポルシェ コネクトのオンライン機能が統合されています。標準装備のコネクト プラスでは充実したインターネットサービスが提供され、Apple CarPlayやオンラインナビゲーション、LTE 電話モジュール、Wi-Fiホットスポットなどが利用可能。スマートフォン用の専用アプリで目的地設定やスケジュール同期なども行えます。2017年1月には専用のコールセンターが設置され、各種サポートやレストラン予約などのコンシェルジュサービスも開始されます。

価格

現在予約受注を行っているのは、パナメーラ 4Sおよびパナメーラ ターボの2車種。パナメーラ 4Sの希望小売価格(税込)は15,910,000円、パナメーラ ターボは23,270,000円です。ハンドル位置は両モデルともに右ハンドルのみで、パナメーラ ターボに限り期間限定で左ハンドルの予約受注を受け付けています。

NEW MODEL INFORMATION [新型車情報]



メルセデス・ベンツEクラス

発表・発売日	7月27日 注文受付開始	
概要	・ 完全自動運転に近づいた新技術「ドライバパイロット」を初搭載 ・ 世界で初めてステアリング部にタッチコントロール機能を採用	
車両価格 (税込)	E 200 アバンギャルド： 6,750,000円 E 200 4MATIC アバンギャルド： 6,980,000円 E 220 d アバンギャルド： 6,980,000円 E 200 アバンギャルド スポーツ： 7,270,000円 E 220 d アバンギャルド スポーツ： 7,500,000円 E 250 アバンギャルド スポーツ： 7,560,000円 E 400 4MATIC エクスクルーシブ： 9,880,000円	
デリバリー 開始時期	－	



ジャガー F-Pace

発表・発売日	6月13日 本格受注開始	
概要	・ 50台限定の特別仕様車に加え、新たに通常モデルの受注を開始 ・ ディーゼルエンジン車は3種類、ガソリンエンジン車は2種類	
車両価格 (税込)	F-PACE PURE： [ディーゼル] 6,390,000円 F-PACE PRESTIGE： [ディーゼル] 6,630,000円 F-PACE R-SPORT： [ディーゼル] 7,280,000円 / 8,490,000円 F-PACE S： 9,810,000円 F-PACE FIRST EDITION (限定)： 11,089,000円	
デリバリー 開始時期	7月下旬	



Mercedes-AMG G 63/G 65 エディション463

発表・発売日	6月17日 注文受付開始	
概要	・ ステンレスアンダーカバー、21インチAMG 5スポークホイールなどの専用装備を装着 ・ インテリアは専用のカーボン調デザインを施したレザーシートを採用 ・ 販売台数は、G 63が全国限定93台、G 65は全国限定3台	
車両価格 (税込)	Mercedes-AMG G 63 Edition 463： 21,600,000円 Mercedes-AMG G 65 Edition 463： 36,720,000円	
デリバリー 開始時期	9月以降	



ジャガー XF

発表・発売日	8月5日 2017年モデルの受注を開始	
概要	・ エントリーグレード「PURE」にフロントシートヒーターを標準装備 ・ エクステリアカラーのラインアップに3種類追加。計19色に拡充	
車両価格 (税込)	XF PURE： [ガソリン] 6,040,000円 / [ディーゼル] 6,140,000円 XF PRESTIGE： [ガソリン] 6,680,000円 / [ディーゼル] 6,930,000円 XF R-SPORT： 9,690,000円 XF PORTFOLIO： 10,270,000円 XF S： 11,200,000円	
デリバリー 開始時期	－	



NISSAN GT-R

発表・発売日	7月27日 発売	
概要	・ 発売以来最大規模となる内外装のデザイン変更 ・ さらなるパワーアップを実施。最高出力570ps、最大トルク637Nmに ・ エキゾースト・サウンド・コントロール、新設計のチタン合金製マフラーを一部車種に採用	
車両価格 (税込)	GT-R Pure edition： 9,960,840円 GT-R Black edition： 11,869,200円 GT-R Premium edition： 11,705,040円	
デリバリー 開始時期	－	



アウディ RS 7 Sportback performance

発表・発売日	7月5日 発表／8月下旬 発売	
概要	・ RSモデルをベースに、さらに性能を向上させた究極の高性能モデル ・ 4.0リッター V8 TFSI エンジンの出力を従来より45ps/50Nm向上。最高出力605ps、最大トルク700Nmを発揮 ・ 同一スペックのエンジンを積むRS 6 Avant performanceも同時発売	
車両価格 (税込)	RS 7 Sportback performance： 18,810,000円 RS 6 Avant performance： 18,290,000円	
デリバリー 開始時期	－	

NEW PRODUCT [新製品]

ベンティガに新たなビスポーク製品登場
フライフィッシング by Mulliner

ベントレーのビスポーク部門を担当するMullinerはこのほど、ベンティガ用の新たなビスポーク製品として「ベンティガ フライフィッシング by Mulliner」のコンセプトを発表しました。フライフィッシング by Mullinerは、ベンティガのあらゆる地形を走破できる性能をフライフィッシング愛好家に訴求するもの。釣りに必要な道具類を全て備えたベンティガ専用のビスポークです。フィッシングロッドはレザーとクロスステッチで仕上げられた専用の筒に収められ、パーセルシェルフ下面に収納。また、ランディングネット用の収納ケースもレザー製で、ラゲッジルーム右側に作られたポケットに収めることができます。マスタータックルステーションは、容易にアクセスできるスライド式トレイの上に設置。マスタータックルユニットはBurr Walnutのウッドパネルで仕上げられ、引き出しの中にはフライを巻くための道具や材料（針、綿、羽毛）が収納されています。この下にはレザー＆ステッチ仕上げのアルミ製リールケースが4つ収納で



きます。マスタータックルステーションの隣に設置するレザー仕上げのリフレッシュメントケースには、3つの金属製ポットのほか中国陶器のテーブルウェアも収納されており、食材を収納するスペースも設けられています。ケース上面はキルティングが施され、ラゲッジルームから降ろしてスツールとして座ることもできます。



Mullinerのディレクター
Geoff Dowdingのメッセージ

「この車はお客様がMullinerに期待することを具現化したショーケースといえます。これは個別に受注するビスポークですから、熟練のスタッフがお客様のどんな趣味にも対応できるよう、エレガントで絶妙なビスポークのソリューションとして設計しました。フライフィッシングはロッド、リール、ウェーダー、ブーツ、フライを巻く道具など多岐にわたる道具と服が必要なスポーツで、これをラグジュアリーかつエレガントな方法で車に収めました。結果として、真のExtraordinaryを提供することになっています」



FUN FACT [徹底した品質管理を行うベントレー]

お客様に最高の品質を確実にお届けするために、
ベントレーの監査官たちは万全のチェック体制で監査に臨んでいます。



監査はゾーンごとに実施

監査は車のインテリアを3つのゾーンに分けて行われます。ゾーン1は最もお客様が手に触れる機会の多いシート、ステアリング、シフトレバーです。ゾーン2は、摩擦や破れの影響が少ないダッシュボード、ゾーン3はカーペットとスペアタイヤ収納部です。結果的に、ゾーン1の問題はゾーン2やゾーン3での問題に比べて高く点数がつけられることになります。



年間1000台

毎年およそ1000台の車が、監査スコアを獲得しベントレーの品質に適合していると判断されて監査プロセスを通過します。

監査官になる前のトレーニング

ベントレーの監査官は、大きく分けて4つのステージから構成されるトレーニングを受けてから監査官としての資格が与えられます。各監査官は**監査資格**を保持していなければならず、トレーニング前に個別の基準に達していなければなりません。その基準を満たしたうえで、実技と筆記の試験の前にOJTが行われます。



1500

要チェックの部品

フォルクスワーゲン グループの車は、可能な限り最高水準で生産ラインを出るためには、監査官によって**平均約1500の構成部品と機能**が徹底的にチェックされなければなりません。

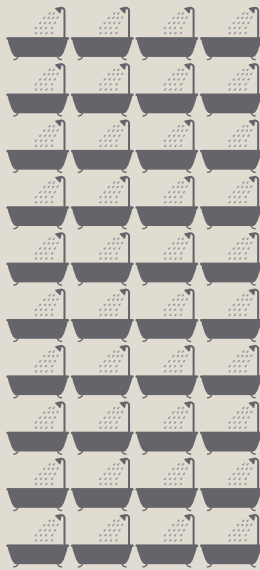


最重要事項はクラフトマンシップ

良いクラフトマンシップと高い信頼性の2つは、**最近の調査でどちらの項目も83%のスコアを獲得しており**、フォルクスワーゲン グループのお客様にとって最も重要な事項です。ほかの優先事項は、アイキャッチ、バリューフォーマネー、快適性、スポーティさ、などです。

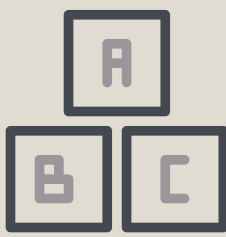
防水

車に予期せぬ穴やパネルのズレがないことを確認するため、監査に回される車は「モンスーンテスト」を受けます。このテストでは、1分間に約400Lの水を10分間かけ続けます。水は4000Lもかけられますが、これはバスタブ40個を満たすか、パイントグラス7039杯分もの量に匹敵します。



ベントレーの車の監査は「A・B・C」並に簡単？

ベントレーの監査では、品質の問題を3つのカテゴリーに分けて評価しています。最も深刻な「A1」から、日常の使用で発見される小さな問題である「C」といった順序です。これは監査官が発見したそれぞれの問題を基準ごとに分けられたカテゴリーに振り分けていくことを意味します。



監査の最高得点は1.0で、C、BまたはAの問題が監査で発見されてはいけません。車の複雑さを反映し、例えばコンチネンタル系の場合は1.3で合格とされています。

では、この点数はどのように計算されているのでしょうか？「C」の数はその車の基礎点数を決めるために使われます。例えば、7件の小さな不具合があると基礎点数は1.1です。BまたはAの問題が1つでもあると、点数が加算されていきます。AやBのレベルの不具合は0.1点追加され、もっと重大なAランクの不具合は0.3点が加えられます。**ベントレーが現在目指している監査の特典は、1.3点から1.9点の間で、モデルの複雑さの違いによって若干異なります。**

世界を駆け巡る

監査を受ける車は、モーターウェイや市街地、郊外の道路を30km走り、騒音、エンジンの動作、ギアチェンジなどが評価されます。**年間の総走行距離はおよそ30,000kmにおよび、これは地球の3/4を走るのと同じ距離です。**



MOTOR SPORT [モータースポーツ]

ブランパンGTシリーズ
総合順位でチームMスポーツは現在4位

今年から耐久シリーズとスプリントシリーズを統合し、最強GTカーを決める戦いの場となったブランパンGTシリーズ。ベントレーのワークスチームであるベントレー・チームMスポーツは、第4ラウンドの耐久カップ（ベルギー・スパフランコルシャン）を終えた時点で、総合順位は4位となっています。

他車との接触など不運に見舞われ遠い表彰台

ここまでの戦いでは、チームMスポーツは不運に見舞われ、表彰台が遠いレースを強いられています。第1ラウンドのスプリントカップ（イタリア・ミサノ）では、ポールポジションを獲得したものの、決勝レースではスタート直後に他車に接触されてスピンし戦線離脱。同ラウンドの耐久カップ（イタリア・モンツァ）では予選6位の8号車（Soucek, Soulet, Reip組）がロケットスタートで3位にジャンプアップ。そのまま走りきり最終結果は3位。見事に表彰台を獲得しました。予選10位と出遅れた第2ラウンドのスプリントカップ（英国・ブランズハッチ）の決勝では、8号車が3位となりモンツァに続き表彰台を獲得。しかし表彰台に上がったのはここまで。同ラウンドの耐久カップ（英国・シルバーストン）で昨年の優勝の再現を目指したチームMスポーツでしたが、8号車が接触によるスピンで優勝戦線から脱落。

7号車（Kane, Smith, Abril組）が7位になんとか食い込みました。第3ラウンドの耐久カップ（フランス・ポールリカル）は、決勝レース1周目で早くも1・2体制を築きましたが、7号車がトラブルで後退。8号車はドライブスルーペナルティなどがありながらも首位をキープしましたが、最後のピットストップの給油時に火出し、消火作業のため大きくタイムをロス。4位に終わりました。同ラウンドのスプリントカップ（ドイツ・ニュルブルクリンク）では、2台ともトップ10を逃してしまいました。ブランパンGTシリーズの最大のイベントともいえる第4ラウンドの耐久カップはベルギーで行われた「スパ24時間」。レース中盤から8号車が首位争いに絡み、終盤までデッドヒートを繰り広げましたが、パンクやドライブスルーペナルティ、フルコースイエロー、終盤のスパウェザー（スコール）などが重なり4位まで後退し、そのままフィニッシュ。表彰台を逃してしまいました。次戦は8月26日～28日に行われる第4ラウンドのスプリントカップ（ハンガリー・ブダペスト）です。このレースを含めて残り3戦。総合順位を1つでも上げるため、ベントレー・チームMスポーツの戦いは続きます。ご声援をよろしくお願いします！



LATEST NEWS [最新情報]

COLLECTION

コラボブランド物語
zai for Bentley

zaiは2003年にシモン・ジャコメット氏によって創立されたスイスの新興スキーメーカーです。日本では一般的な知名度が高いとはいえませんが、超高級・高性能のスキーとして徐々にその名が知られつつあります。ベントレー モーターズの元CEO兼会長のFranz-Josef Paefgen氏がzaiのスキーを入手し、その性能の高さに感銘を受けてzaiの工房を訪れたことをきっかけに、2009年にベントレーとのコラボレーションが実現。「zai for Bentley」として高性能のスキー板が誕生しました。zaiのスキーは、熟練の職人がひとつひとつ手間ひまかけてオールハンドメイドで仕上げています。また、強度と柔軟性というスキーにとって不可欠な要素を満たすため、東洋紡のダイニーマという素材を使用するなど、材料にも徹底的にこだわっているのが大きな特徴です。「多くの人が安全に高性能を楽しめる」というのがzaiのコンセプト。その精神は、ベントレーがドライバーの努力を必要としない車を「Effortless」という言葉で表現するのと同じものがあります。この2者がコラボレーションするに至ったのは、必然だったのかもしれませんが。



※現在 zai for Bentleyは廃盤。



CONFIGURATOR

新コンフィギュレーターの機能

ベントレー モーターズはこのほど、カーコンフィギュレーターを刷新し、お客様が「理想のベントレー」を保存できるなど新たな機能を追加しました。新しい5つの特徴は以下のとおりです。

- 1 高解像度、フルスクリーンでの画像表示
全てのアングルの画像はフルスクリーンで表示可能。ビスポークが細部まで正確に画面上でチェックできます。
- 2 ビルトイン・デザイン
タブレット、スマートフォン、ノートPCなど、さまざまなプラットフォームからでも利用できるデザインにしました。
- 3 スピード感ある画面移動
お客様が利用する際にスピード感をもって画面間を移動できるようにしました。より使いやすく満足度が高い仕様となっています。
- 4 Eメールとソーシャルメディア機能を追加
画面右上に設けたアイコンを押すことによって、お客様やベントレーの購入を検討している人が「理想のベントレー」をSNSなどでシェアできるようにしました。
- 5 ベントレー コミッション コード
新たに搭載された機能が、8桁の英数字によるベントレー コミッション コードの発行です。コードを入力すればお客様が選択した仕様がいつでも呼び出せます。

全ての新しい機能は、リテラーとお客様のコミュニケーションツールとして利用できる（5）のベントレー コミッション コードに集約されます。コードの有効期間は3ヶ月なので、お客様とリテラーは古いコードを使用すれば以前のコンフィギュレーションを呼び出すことも可能です。



コミッションコードで選択した仕様の保存が可能になった。
右上のアイコンを押すと「理想のベントレー」をシェアできる。

CONFIGURATOR



<https://www.bentleymotors.com/en/misc/car-configurator.html>

TRAINING [トレーニング]

ベンテイガの機能に関するQ & A

7月に実施予定だったベンテイガの研修ですが、さまざまな事情により残念ながらキャンセルとさせていただきます。そこで、研修前に皆様からいただいた質問の中で、特に要望の多かったものについて回答します。



Q

USBスロットが装備されていますが、iPodなどのポータブル機器はどの機種でも使用できるのでしょうか？

A

アームレストの下に装備されているベントレー ミュージック インターフェースは、以下のモバイル機器に対応しています。

iPod / MTP プレイヤー / USB 2.0 と互換性があり、USB デバイス サブクラス1および6に属する大容量USB デバイス / USB スティック / USB MP3 プレイヤー（プラグアンドプレイ対応） / 外部USBフラッシュメモリー / 外部USBハードドライブ

また、接続可能な機器については、ベントレー モーターズのウェブサイトにある「Bluetooth guide (<http://bluetooth.bentleymotors.com/>)」で確認できます。

Q

CDからダイレクトにHDDに音楽ファイルをコピーできますか？

A

CDの音楽ファイルをHDDにコピーすることは可能です。ただし、コピー版のCDではトラックのコピーはできず、重複した音楽ファイルもコピーされません。なお、現時点では取扱説明書には拡張子の条件の記載はありません。

Q

バッテリーがあがってしまった時にテールゲートを開く場合、どこにオープナーがあるのでしょうか？

A

テールゲート下部にある停止表示板コンパートメントを開き、停止表示板を取り外すと黄色のリリースタブ（イラスト下段の矢印）があります。テールゲートを手動で開閉している間は、挟み込み防止機能は作動しませんのでご注意ください。

Q

走行モードの切り替えでは車高が変わりますが、この機能は標準装備ですか？

A

標準装備です。センターコンソールにあるドライブ ダイナミック ロータリー コントロールを使用して、下に記した特定の車高とダンパーモードレベルにプログラムされたドライバーモードを選択できます。

- SPORT = 低車高 (-20mm)、ナチュラル重視のダンピング
- 「B」(ベントレー) = 標準車高、ナチュラル重視のダンピング
- COMFORT = 標準車高、快適性重視のダンピング
- CUSTOM = ドライバーが設定したモード
- 雪、氷、草 = 標準車高、オフロード重視のダンピング
- 砂利 = 標準車高、オフロード重視のダンピング
- 泥とわだち = 高車高 (+20mm)、オフロード重視のダンピング
- 砂 = 高車高 (+20mm)、オフロード重視のダンピング

Q

シティセーフガードによる衝突回避機能と、ツーリングスペックオプション選択時のセーフガードプラスにはどのような差がありますか？

A

ベントレー セーフガード プラスは、モノカメラ+アダプティブクルーズコントロール (ACC) のレーダーセンサーで監視するもので、ベントレー セーフガードとシティセーフガードの各システムの機能を向上させたものです。フロントレーダーセンサーの視界がより広くなることでその能力が高められ、十分な反応時間が確保できるため、危険を認識できる可能性が高まります。250km/h以下の状況であれば、システムが自動的にブレーキをかけることが可能です。また、対向車線を横切るようにして脇道に入る場合に作動する「交差点アシスト」も含まれています。

Q

「交差点アシスト」とはどんな機能ですか？

A

ベントレー セーフガード プラスの機能の1つで、対向車線を横切るようにして自車が脇道に入る場合、交差点アシストがブレーキをかけて対向車との衝突を回避することができます。なお、この機能は車速が10km/h以下の状況で有効となります。交差点アシストが作動した場合、警告音を発し、ドライバー インフォメーション パネルに「Bentleyセーフガード」(左記の写真) というメッセージを表示し、ドライバーに危険な状況に目を向けるよう促します。

Q

トラフィックアシスト機能をONやOFFにすることはできるのでしょうか？

A

トラフィックアシストはACCとレーンアシストがONのときに作動する機能です。トラフィックアシストを作動させるには、インフォテイメントシステムの「CAR」→「Bentleyアシストシステム」→「トラフィックアシスト」で機能を有効化（ボックスにチェックマークが表示されます）できます。有効化された状態で、方向指示器レバーの先端にあるボタン（イラストの矢印①）でシステムのONとOFFを切り替えることができます。

Q

レーンアシスト作動時に、レーンを見失うと機能の作動が止まりますが、その後の安全対策はあるのでしょうか？（カーブでアシストが作動しなくなると危険に思います）

A

レーンアシストのONやOFFの状態は、タコメーターのディスプレイのインジケーターで知ることができます。

黄色い線

レーンアシストがONになっているが作動していません。システムはステアリングに修正する入力信号を送りません。

緑色い線

レーンアシストがONに切り替わり、作動します。緑色の2本の線は、システムが両側について修正するようにステアリングに入力信号を送っていることを示しています。

緑色と黄色い線

レーンアシストが作動し、緑色の線で表されている側について修正するようにステアリング入力信号を送っています。

また、システムの故障時などでレーンアシストが使用できないときは、ドライバーインフォメーションパネルに警告が表示されます。